

神崎町

障害のある方の福祉に関する
アンケート調査結果報告書

令和5年10月

神崎町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査方法及び配布・回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者について	2
II	調査結果	3
1	対象者の性別・年齢、障害及び手帳等の種類	3
(1)	性別・年齢	3
①	性別	3
②	年齢	3
(2)	手帳の種類	4
(3)	障害等の種類	5
2	障害などの状況、家族について	6
(1)	日常生活について	6
(2)	主な介助者	7
(3)	介助者について	8
①	介助者の性別	8
②	介助者の年齢	8
③	介助者の健康状態	8
(4)	主な介助者が介助できなくなった場合の対応	9
3	住まいや暮らしについて	10
(1)	現在の暮らし方	10
(2)	将来地域で暮らしたいか	11
(3)	地域で生活するためにあるとよいと思う支援	12
4	日中活動や就労について	13
(1)	外出の頻度	13
(2)	外出する際の主な同伴者	14

(3) 外出の目的.....	15
(4) 外出する時に困ること.....	16
(5) 平日の日中の過ごし方.....	17
(6) 勤務形態	18
(7) 今後収入を得る仕事をしたいか.....	18
(8) 仕事に就くために職業訓練などを受けたいか.....	19
(9) 障害者の就労支援として必要なこと.....	20
(10) 障害福祉サービスなどの利用状況.....	21
(11) 障害福祉サービスを利用しない理由.....	25
5 保健・医療について.....	26
(1) 定期的に通院している医療機関の有無.....	26
(2) 現在受けている医療的ケア.....	27
(3) 医療で困っていること.....	28
(4) 悩みや困ったことの相談先.....	29
(5) 障害や福祉サービスなどに関する情報の入手先.....	30
(6) 今後特に充実してほしい情報.....	31
6 災害時の避難などについて.....	32
(1) 災害時に一人で避難できるか.....	32
(2) 災害時に頼れる人.....	33
(3) 災害時に困ること.....	34
7 療育・教育・保育について.....	35
(1) 療育や教育での困り事・将来の不安や心配事.....	35
(2) 保育所・学校等で充実してほしいこと.....	35
8 権利擁護について.....	36
(1) 差別を受けたり嫌な思いをしたこと.....	36
(2) 差別を受けたり嫌な思いをした場所.....	37
(3) 差別や虐待を受けた時の相談先を知っているか.....	38
(4) 成年後見制度について.....	38
(5) 成年後見制度の利用意向.....	39
9 自由意見.....	40
(1) 自由意見	40

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、町民の障害福祉サービス等の利用実態や障害者福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるために実施した。

(2) 調査方法及び配布・回収結果

項目	内容
調査対象 ・抽出法	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証の所持者及び特別児童扶養手当受給者の中から無作為で抽出
調査方法	郵送配付・郵送回収
調査時期	令和5年7月
調査地域	神崎町全域
配付・回収結果	配布数：285 有効回収数：136 回収率：47.7%

2 本調査報告書の基本的な事項

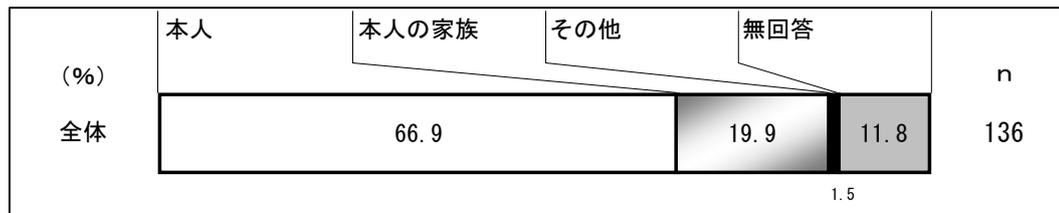
(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③複数回答の項目(質問の終わりに【複数回答】とある問)については、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っている。このため、比率計が100%を超えることがある。
- ④クロス集計表の表側(分類層)の実数(人数)は、無回答を除いた数を表記しているため、各層の実数と集計対象総数が一致しないことがある。なお、障害の種類については、重複を含む数を表記しているため、実数(人数)の合計と集計対象総数が一致しないことがある。
- ⑤クロス集計表については、最も高い比率のものを網かけしている(無回答を除く。)。ただし、回答者数が少数の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめるものとする。
- ⑥図表中では、スペースの都合で選択肢名などを一部省略している場合がある。

3 回答者について

本調査の回答者は、「本人」(66.9%)、「本人の家族」(19.9%)、「その他」(1.5%)となっている。

図表 回答者(全体)



II 調査結果

1 対象者の性別・年齢、障害及び手帳等の種類

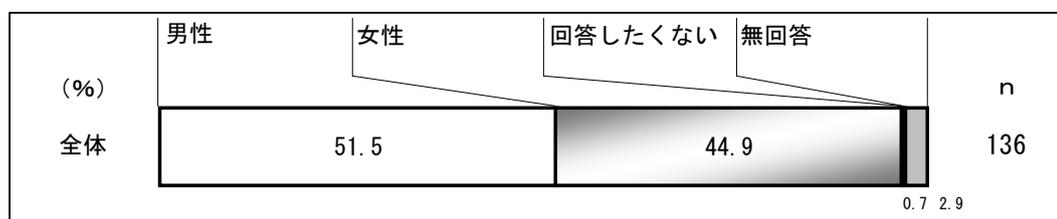
(1) 性別・年齢

問2 あなたの性別、年齢についてお答えください。

① 性別

性別は、「男性」(51.5%)、「女性」(44.9%)、「回答したくない」(0.7%) となっている。

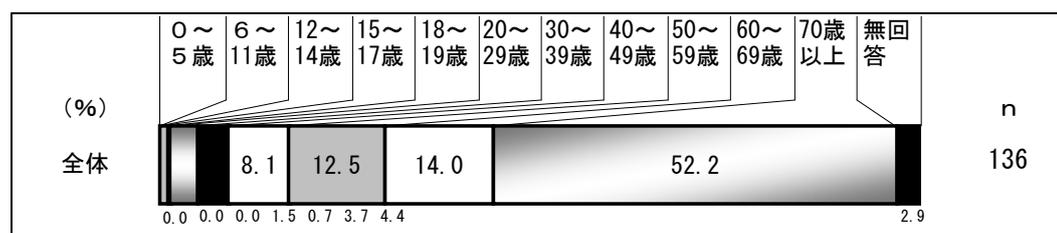
図表 性別 (全体)



② 年齢

年齢は、18歳未満が1.5%、18～39歳が8.8%、40～69歳が34.6%、70歳以上が52.2% となっている。

図表 年齢 (全体)



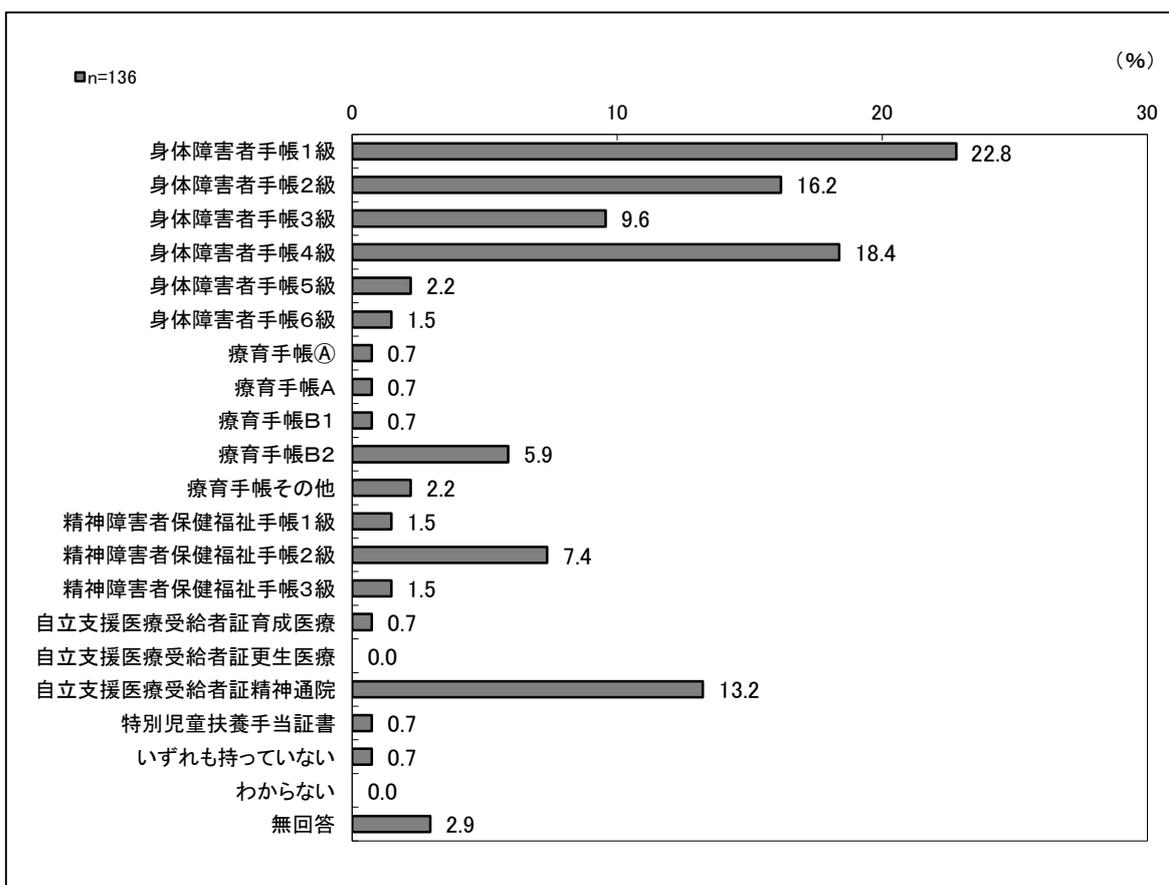
区分	n	%
18歳未満	3	1.5
18～39歳	12	8.8
40～69歳	47	34.6
70歳以上	71	52.2
無回答	4	2.9
全体	136	100.0

(2) 手帳の種類

問3 あなたがお持ちの手帳や受給者証等は以下のどれですか。【複数回答】

- 「身体障害者手帳」所持者は全体の70.6%。
- 「療育手帳」所持者は全体の10.3%。
- 「精神障害者保健福祉手帳」所持者は全体の10.3%。
- 「自立支援医療受給者証」所持者は全体の14.0%。
- 「特別児童扶養手当証書」・「いずれも持っていない」は同率0.7%。

図表 手帳の種類（全体／複数回答）

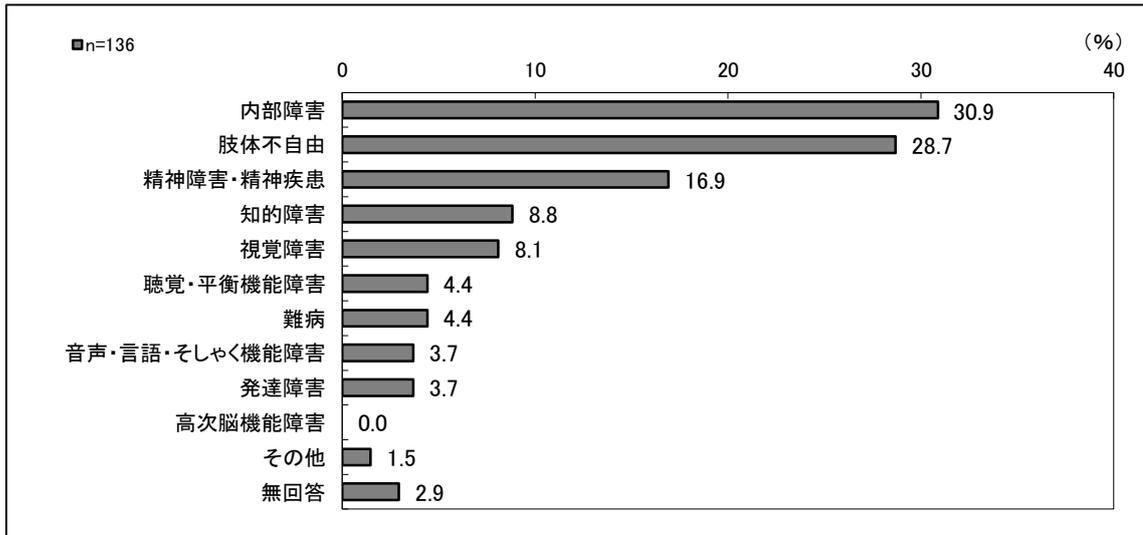


(3) 障害等の種類

問4 あなたの障害等の種類についてお答えください。【複数回答】

● 「内部障害」が最も多く、次いで「肢体不自由」が続く。

図表 障害等の種類（全体／複数回答）



図表 障害等の種類（全体・障害種別／複数回答）

		合計	肢体不自由	内部障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	知的障害	発達障害	高次脳機能障害
全体		136	39	42	11	6	5	12	5	0
		100.0%	28.7%	30.9%	8.1%	4.4%	3.7%	8.8%	3.7%	0.0%
障害種別	身体	96	38	41	11	6	5	2	0	0
		100.0%	39.6%	42.7%	11.5%	6.3%	5.2%	2.1%	0.0%	0.0%
	知的	11	0	0	0	0	0	9	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	9.1%	0.0%	
	精神	26	1	0	0	0	0	2	4	0
	100.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	
		合計	精神障害・精神疾患	難病	その他	無回答				
全体		136	23	6	2	4				
		100.0%	16.9%	4.4%	1.5%	2.9%				
障害種別	身体	96	2	5	0	3				
		100.0%	2.1%	5.2%	0.0%	3.1%				
	知的	11	1	0	0	1				
	100.0%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%					
	精神	26	19	1	1	0				
	100.0%	73.1%	3.8%	3.8%	0.0%					

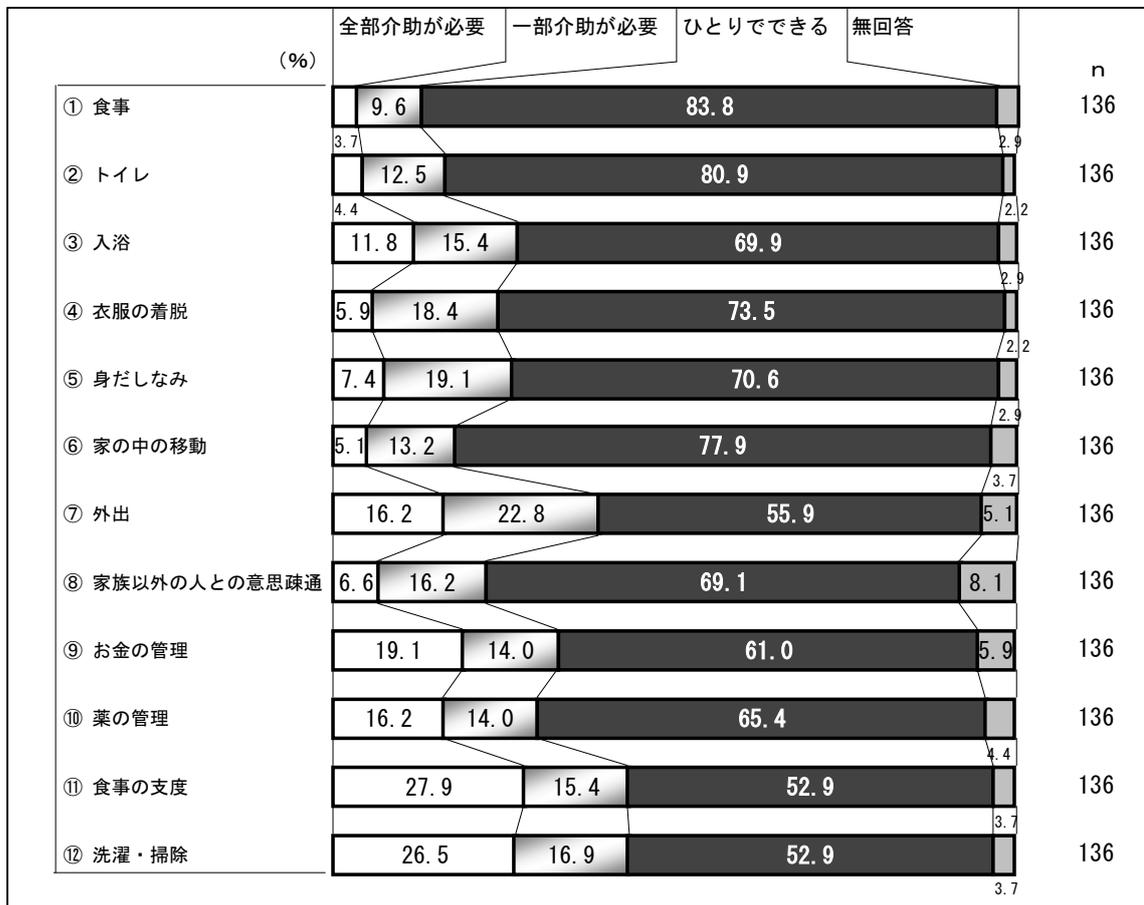
2 障害などの状況、家族について

(1) 日常生活について

問5 あなたは日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

- 日常生活について、介助が必要な状況かどうかをたずねたところ、下記のとおりとなっている。
- “介助が必要”（「全部介助が必要」と「一部介助が必要」の合計）をみると、「食事の支度」「洗濯・掃除」が4割強を占めて多い。また、「外出」も約4割と多くなっている。

図表 日常生活について（全体）

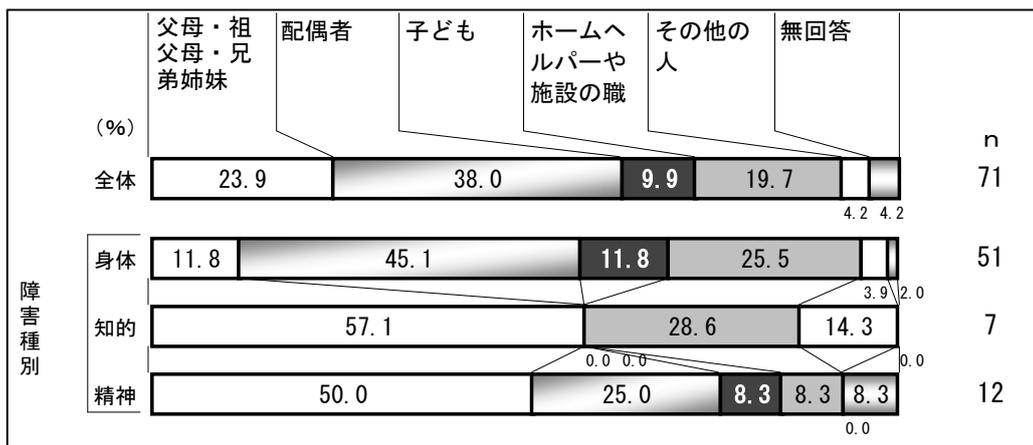


(2) 主な介助者

※問5で1つでも「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
問5-1 あなたを主に介助してくれる方は誰ですか。

- 「配偶者」が4割弱を占めて最も多い。
- 障害種別に見ると、知的、精神では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が最も多い。

図表 主な介助者（全体）



(3) 介助者について

※問 5-1 で「1」～「3」に○をつけた方にうかがいます。
 問 5-2 あなたを主に介助してくれる方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

- 家族等の主な介助者の性別や年齢等は、下記のとおりとなっている。
- 性別は、「女性」が6割強を占める。
- 年齢は、「70歳代」が約3割で最も多く、「60歳代」が2割強で続く。
- 健康状態は「ふつう」が7割弱。

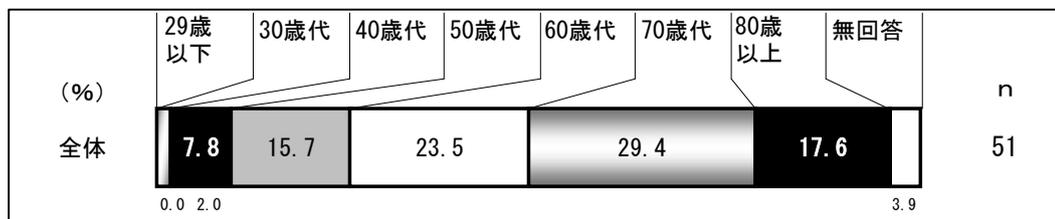
① 介助者の性別

図表 介助者の性別（全体）



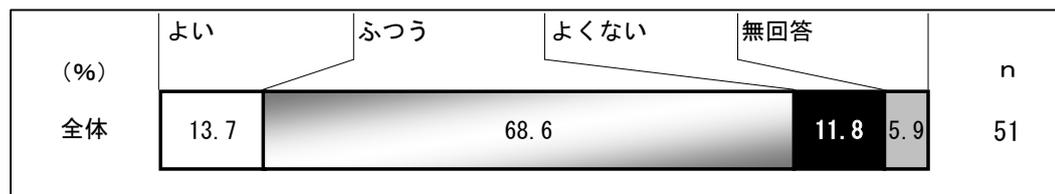
② 介助者の年齢

図表 介助者の年齢（全体）



③ 介助者の健康状態

図表 介助者の健康状態（全体）



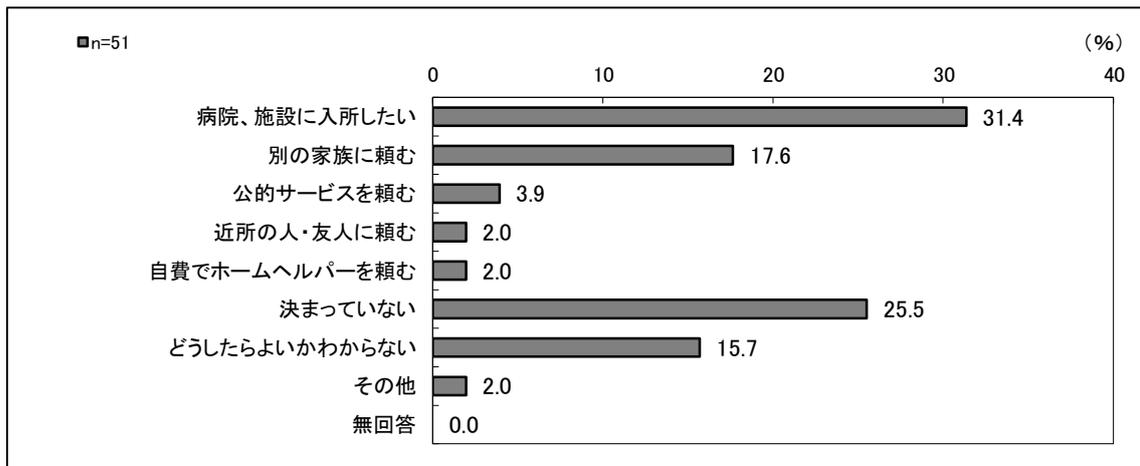
(4) 主な介助者が介助できなくなった場合の対応

問5-3 あなたを主に介助している方が、万が一、介助できなくなった場合、どのようにされますか。

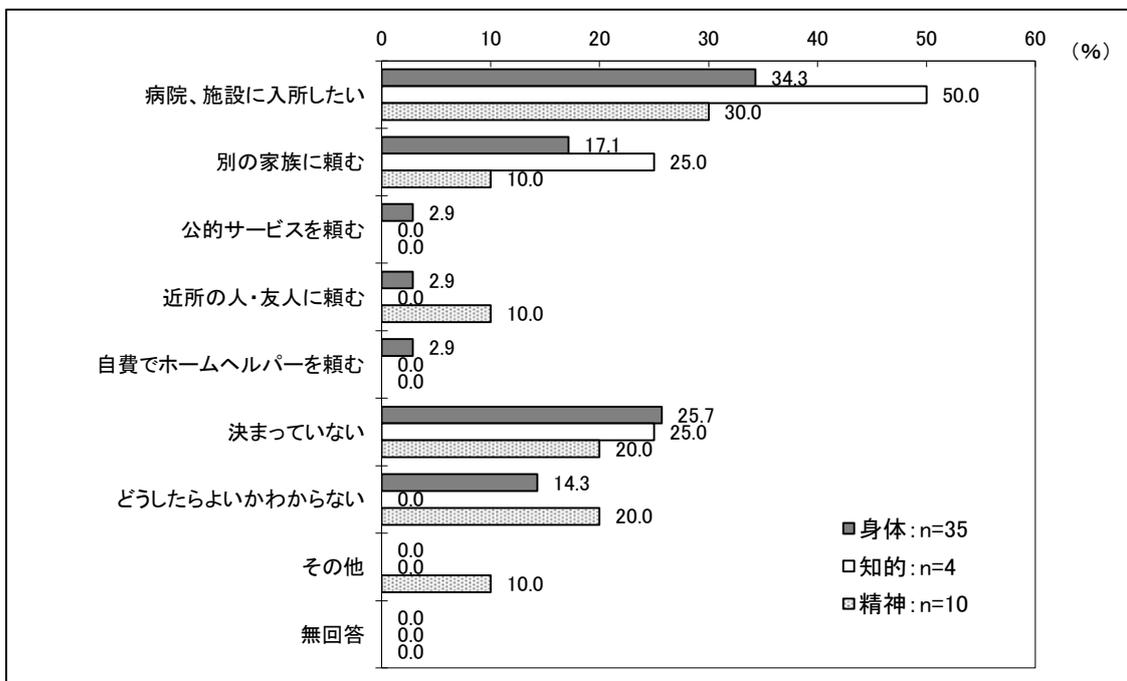


- 「病院、施設に入所したい」が約3割で最も多い。
- 「決まっていない」は2割台半ば、「どうしてもよいかわからない」は1割台半ば。
- 障害種別にもても、すべての障害で「病院、施設に入所したい」が最も多い。

図表 主な介助者が介助できなくなった場合どうするか（全体）



図表 主な介助者が介助できなくなった場合どうするか（障害種別）



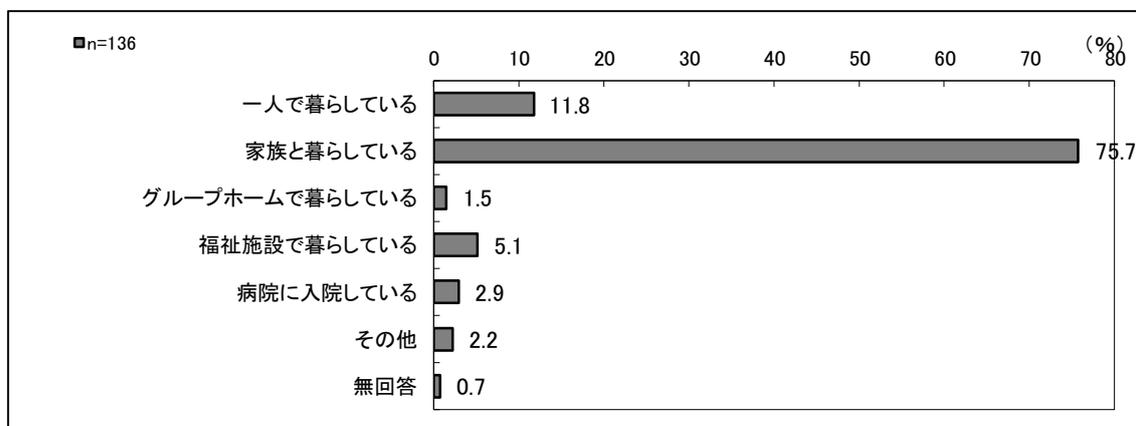
3 住まいや暮らしについて

(1) 現在の暮らし方

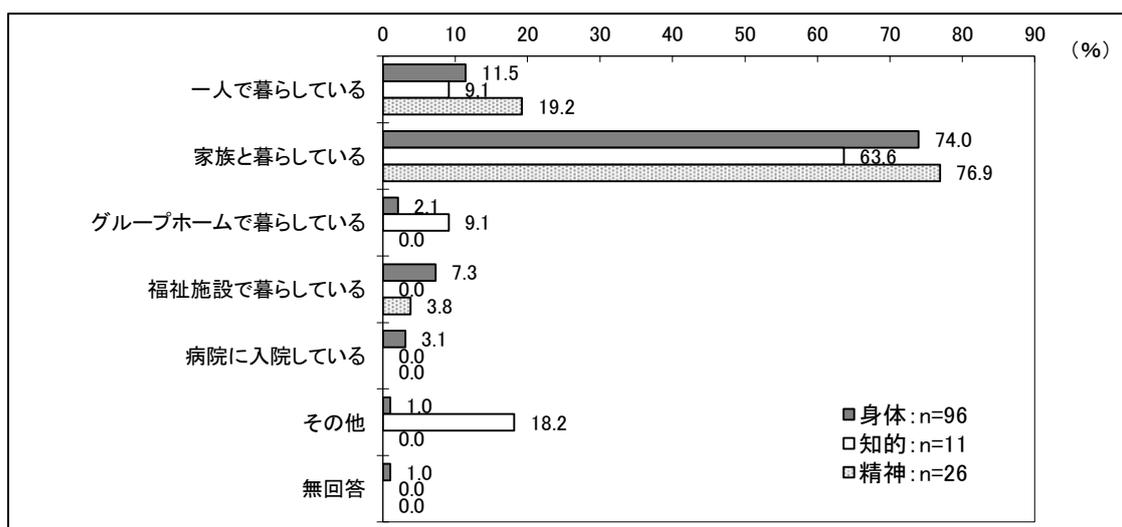
問6 あなたは現在どのように暮らしていますか。

- 「家族と暮らしている」が7割台半ばを占めて最も多い。
- 障害種別でも、すべての障害で「家族と暮らしている」が最も多くなっているが、知的では「その他」が2割弱、精神では「一人で暮らしている」が約2割を占めるなど、家族との同居以外の割合がやや多い。

図表 現在の暮らし方（障害種別）



図表 現在の暮らし方（障害種別）



【主なその他の内容】（自由記述）

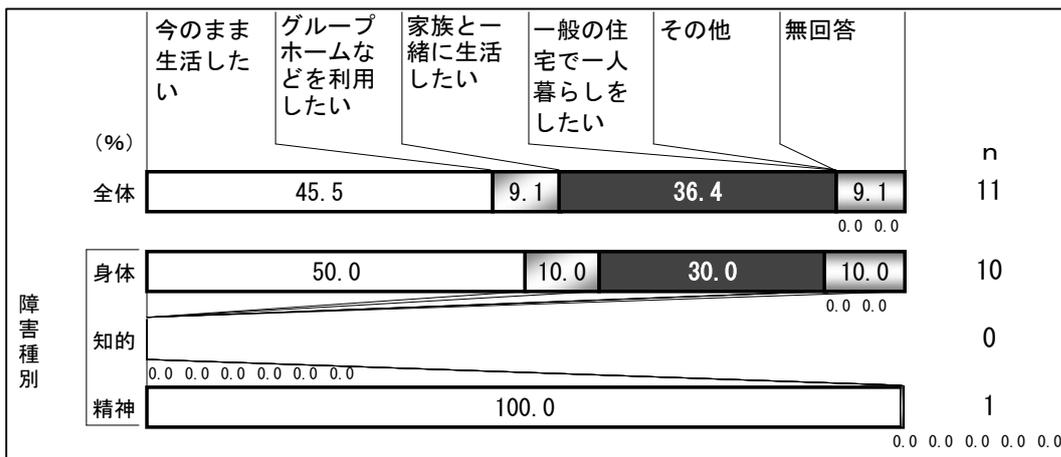
・介護老人保険施設 ・同居人（元夫） ・姉夫婦と暮らしてる。

(2) 将来地域で暮らしたいか

※問6で「4」または「5」に○をつけた方にかがいます。
 問6-1 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。

- 「福祉施設で暮らしている」及び「病院に入院している」方に、将来地域で暮らしたいかたずねたところ、「今のまま生活したい」が4割台半ばを占めて最も多い。

図表 将来地域で暮らしたいか（全体・障害種別）

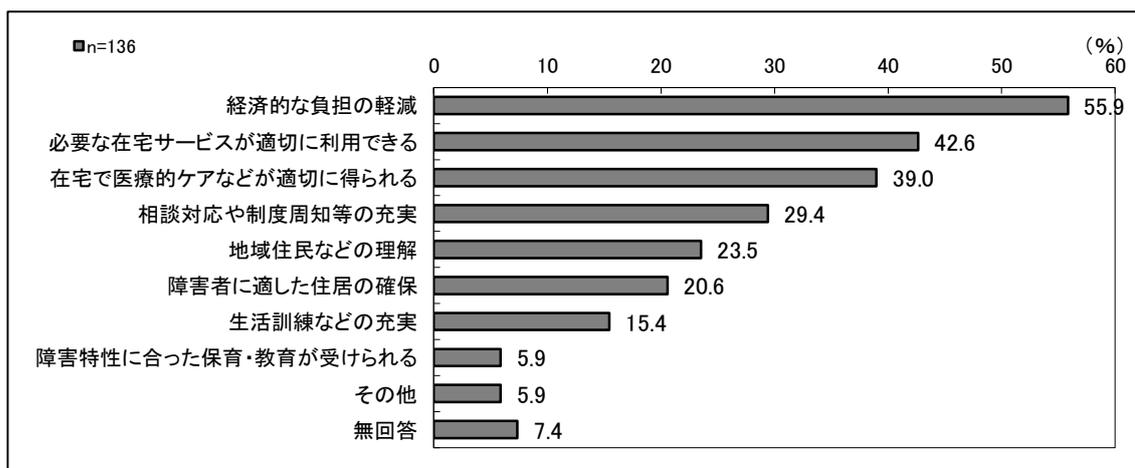


(3) 地域で生活するためにあるとよいと思う支援

問7 あなたが地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
【複数回答】

- 「経済的な負担の軽減」が5割台半ばで最も多い。
- 次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できる」、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られる」など、在宅での支援を求める回答が続く。

図表 地域で生活するためにあるとよいと思う支援（全体／複数回答）



図表 地域で生活するためにあるとよいと思う支援（全体・障害種別／複数回答）

		合計	在宅で医療的ケアなどが適切に得られる	障害者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できる	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応や制度周知等の充実	地域住民などの理解	障害特性に合った保育・教育が受けられる
全体		136	53	28	58	21	76	40	32	8
		100.0%	39.0%	20.6%	42.6%	15.4%	55.9%	29.4%	23.5%	5.9%
障害種別	身体	96	42	19	49	16	46	24	19	2
		100.0%	43.8%	19.8%	51.0%	16.7%	47.9%	25.0%	19.8%	2.1%
	知的	11	6	4	3	2	9	8	3	3
		100.0%	54.5%	36.4%	27.3%	18.2%	81.8%	72.7%	27.3%	27.3%
精神		26	5	5	7	5	19	10	12	4
		100.0%	19.2%	19.2%	26.9%	19.2%	73.1%	38.5%	46.2%	15.4%
		合計	その他	無回答						
全体		136	8	10						
		100.0%	5.9%	7.4%						
障害種別	身体	96	4	7						
		100.0%	4.2%	7.3%						
	知的	11	1	0						
		100.0%	9.1%	0.0%						
精神		26	3	1						
		100.0%	11.5%	3.8%						

4 日中活動や就労について

(1) 外出の頻度

問8 あなたは1週間にどの程度外出しますか。

- 「1週間に数回外出する」が約4割で最も多い。
- 障害種別で見ると、身体では「1週間に数回外出する」が最も多い一方、精神では「毎日外出する」が最も多く、知的でも「毎日外出する」と「1週間に数回外出する」が同率で並ぶ。

図表 外出の頻度（全体・障害種別）

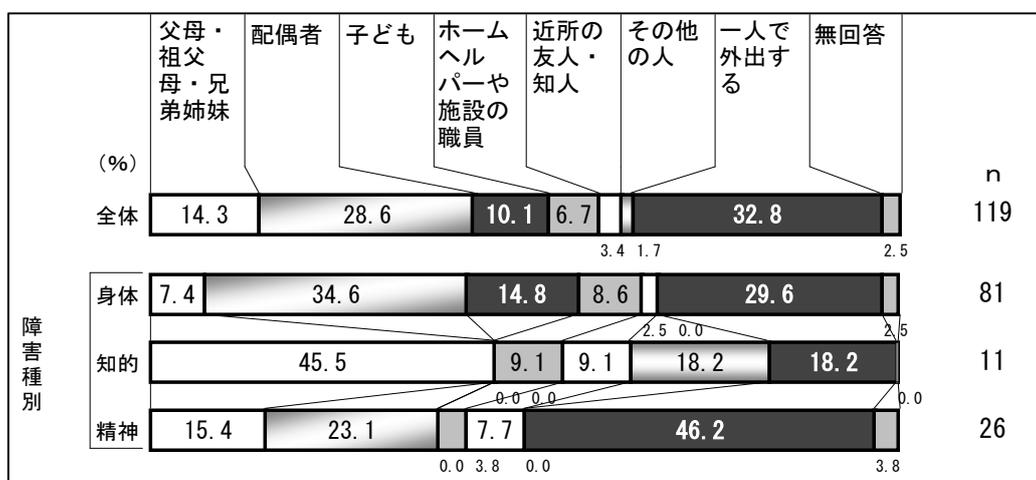
障害種別	外出の頻度					n
	毎日外出する	1週間に数回外出する	めったに外出しない	まったく外出しない	無回答	
全体	25.0	41.9	20.6	6.6	5.9	136
身体	18.8	41.7	24.0	8.3	7.3	96
知的	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0	11
精神	42.3	38.5	19.2	0.0	0.0	26

(2) 外出する際の主な同伴者

※問8で「1」～「3」に○をつけた方にうかがいます。
 問8-1 あなたは外出する際、主に誰と一緒に出掛けますか。

- 「一人で外出する」が3割強で最も多い。
- 障害種別で見ると、身体では「配偶者」、知的では「父母・祖父母・兄弟姉妹」、精神では「一人で外出する」が最も多くなっている。

図表 外出する際の主な同伴者（全体・障害種別）

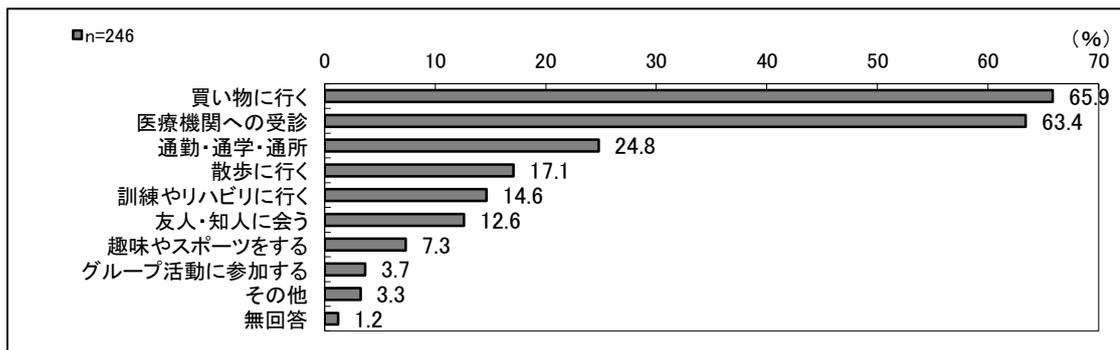


(3) 外出の目的

※問8で「1」～「3」に○をつけた方にうかがいます。
 問8-2 あなたはどのような目的で外出しますか。【複数回答】

- 「買い物に行く」と「医療機関への受診」が他を離して多い。
- 障害種別で見ると、知的では「通勤・通学・通所」が最も多い。

図表 外出の目的（全体／複数回答）



図表 外出の目的（全体・障害種別／複数回答）

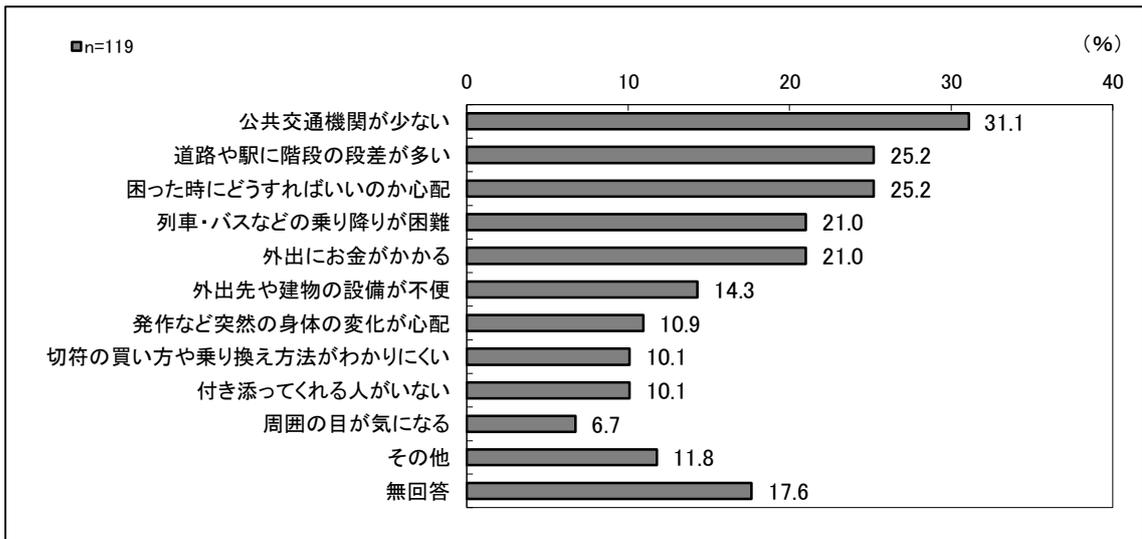
		合計	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く
全体		119	35	15	86	87	24	10	4	38
		100.0%	29.4%	12.6%	72.3%	73.1%	20.2%	8.4%	3.4%	31.9%
障害種別	身体	81	14	13	65	57	9	4	2	23
		100.0%	17.3%	16.0%	80.2%	70.4%	11.1%	4.9%	2.5%	28.4%
	知的	11	9	0	4	8	5	1	0	3
	100.0%	81.8%	0.0%	36.4%	72.7%	45.5%	9.1%	0.0%	27.3%	
	精神	26	12	2	18	21	10	5	2	12
	100.0%	46.2%	7.7%	69.2%	80.8%	38.5%	19.2%	7.7%	46.2%	
		合計	その他	無回答	非該当					
全体		119	4	1	17					
		100.0%	3.4%	0.8%						
障害種別	身体	81	2	0	15					
		100.0%	2.5%	0.0%						
	知的	11	1	0	0					
	100.0%	9.1%	0.0%							
	精神	26	1	1	0					
	100.0%	3.8%	3.8%							

(4) 外出する時に困ること

※問8で「1」～「3」に○をつけた方にうかがいます。
問8-3 あなたが外出する時に困ることは何ですか。【複数回答】

- 「公共交通機関が少ない」が約3割で最も多く、次いで「道路や駅に階段の段差が多い」と「困った時にどうすればいいのか心配」が同率で続く。
- 障害種別で見ると、精神では「外出にお金がかかる」が最も多い。

図表 外出する時に困ること（全体／複数回答）



図表 外出する時に困ること（全体・障害種別／複数回答）

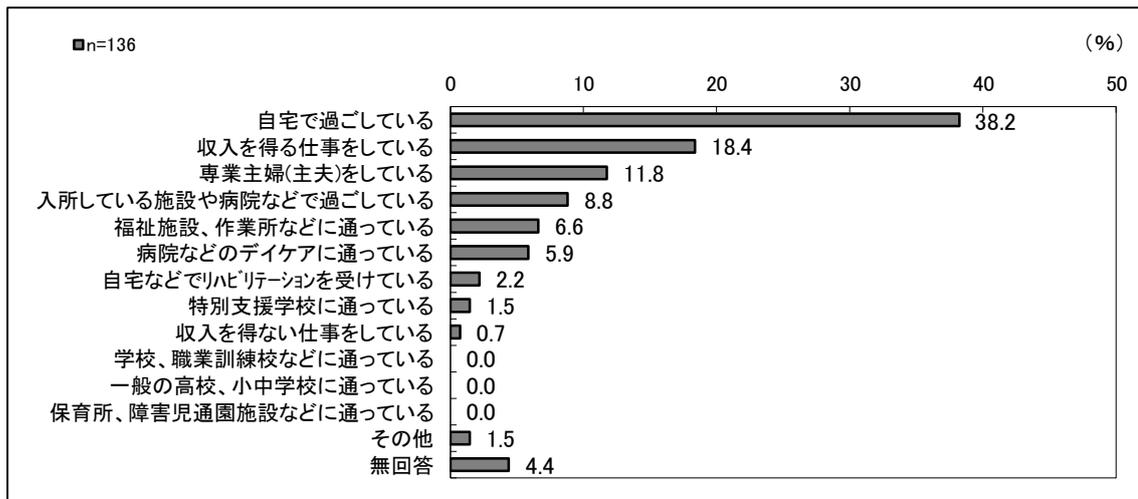
		合計	公共交通機関が少ない	列車・バスなどの乗り降りが困難	道路や駅に階段の段差が多い	切符の買い方や乗り換え方法がわかりにくい	外出先や建物の設備が不便	付き添ってくれる人がいない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
全体		119 100.0%	37 31.1%	25 21.0%	30 25.2%	12 10.1%	17 14.3%	12 10.1%	25 21.0%	8 6.7%
障害種別	身体	81 100.0%	24 29.6%	21 25.9%	27 33.3%	7 8.6%	14 17.3%	8 9.9%	11 13.6%	4 4.9%
	知的	11 100.0%	5 45.5%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%
	精神	26 100.0%	7 26.9%	2 7.7%	1 3.8%	4 15.4%	3 11.5%	4 15.4%	13 50.0%	4 15.4%
	合計		発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答	非該当			
全体		119 100.0%	13 10.9%	30 25.2%	14 11.8%	21 17.6%	17			
障害種別	身体	81 100.0%	9 11.1%	22 27.2%	6 7.4%	14 17.3%	15			
	知的	11 100.0%	0 0.0%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	0			
	精神	26 100.0%	4 15.4%	5 19.2%	5 19.2%	4 15.4%	0			

(5) 平日の日中の過ごし方

問9 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

- 「自宅で過ごしている」が他を離して最も多く、次いで「収入を得る仕事をしている」が続く。

図表 平日の日中の過ごし方（全体）



図表 平日の日中の過ごし方（全体・障害種別）

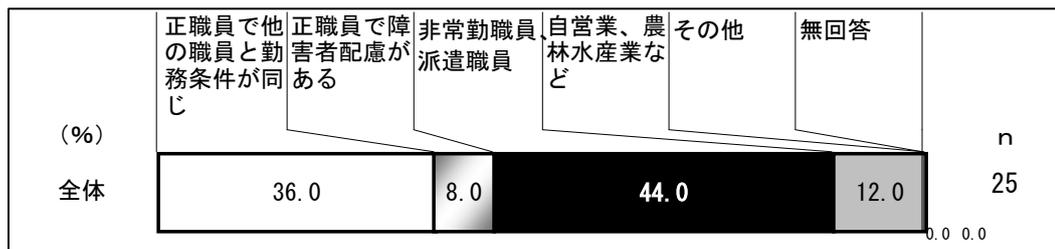
		合計	収入を得る仕事をしている	収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	福祉施設、作業所などに通っている	病院などのデイケアに通っている	自宅などでリハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院などで過ごしている
全体		136	25	1	16	9	8	3	52	12
		100.0%	18.4%	0.7%	11.8%	6.6%	5.9%	2.2%	38.2%	8.8%
障害種別	身体	96	12	1	14	3	4	3	41	12
		100.0%	12.5%	1.0%	14.6%	3.1%	4.2%	3.1%	42.7%	12.5%
	知的	11	3	0	0	3	0	0	2	0
	100.0%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	
	精神	26	10	0	2	1	3	0	9	1
	100.0%	38.5%	0.0%	7.7%	3.8%	11.5%	0.0%	34.6%	3.8%	
		合計	学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校に通っている	一般の高校、小中学校に通っている	保育所、障害児通園施設などに通っている	その他	無回答		
全体		136	0	2	0	0	2	6		
		100.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%	4.4%		
障害種別	身体	96	0	0	0	0	1	5		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	5.2%		
	知的	11	0	2	0	0	1	0		
	100.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%			
	精神	26	0	0	0	0	0	0		
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

(6) 勤務形態

※問9で「1」に○をつけた方にかがいます。
問9-1 あなたはどのような勤務形態で働いていますか。

- 「非常勤職員、派遣職員」が4割台半ばで最も多い。
- 「正職員で障害者配慮がある」は1割未満。

図表 勤務形態（全体）

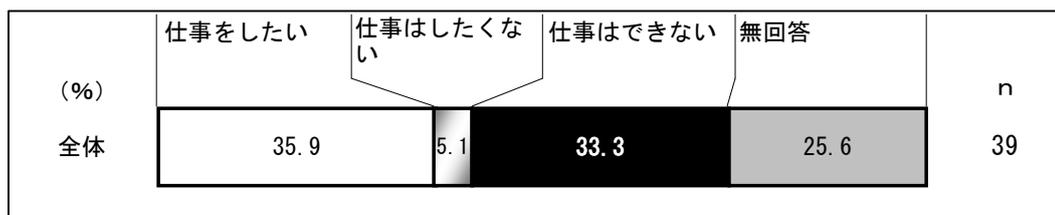


(7) 今後収入を得る仕事をしたいか

※問9で「2」～「13」に○をつけた方のうち、18～64歳の方にかがいます。
問10 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

- 「仕事をしたい」が3割台半ばで最も多い一方、「仕事はできない」も3割強で続く。

図表 今後収入を得る仕事をしたいか（全体）

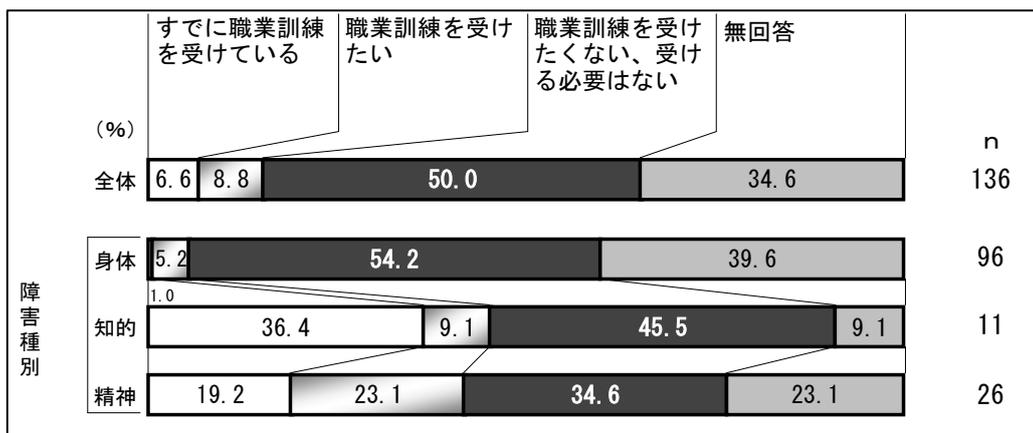


(8) 仕事に就くために職業訓練などを受けたいか

問 11 あなたは収入を得られる仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか。

- 「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が5割を占めて最も多い。
- 障害種別で見ても、すべての障害で「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が多くなっている。

図表 仕事に就くために職業訓練などを受けたいか（全体・障害種別）

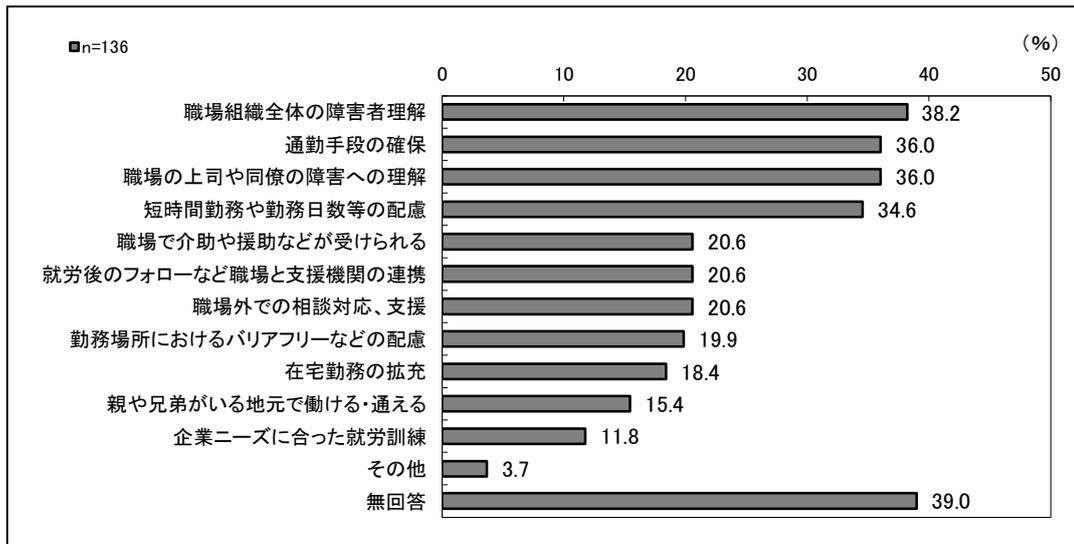


(9) 障害者の就労支援として必要なこと

問 12 あなたは障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
【複数回答】

- 「職場組織全体の障害者理解」が最も多い。
- 次いで、「通勤手段の確保」「職場の上司や同僚の障害への理解」「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が3割台半ばで続く。

図表 障害者の就労支援として必要なこと（全体／複数回答）



図表 障害者の就労支援として必要なこと（全体・障害種別／複数回答）

		合計	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場組織全体の障害者理解	職場の上司や同僚の障害への理解	職場で介助や援助などが受けられる	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	
全体		136	49	27	47	25	52	49	28	28	
		100.0%	36.0%	19.9%	34.6%	18.4%	38.2%	36.0%	20.6%	20.6%	
障害種別	身体	96	31	21	28	16	31	28	21	14	
		100.0%	32.3%	21.9%	29.2%	16.7%	32.3%	29.2%	21.9%	14.6%	
	知的	11	7	3	8	4	8	7	7	5	
		100.0%	63.6%	27.3%	72.7%	36.4%	72.7%	63.6%	63.6%	45.5%	
精神	26	10	3	10	6	12	12	3	7		
		100.0%	38.5%	11.5%	38.5%	23.1%	46.2%	46.2%	11.5%	26.9%	
	合計		企業ニーズに合った就労訓練	職場外での相談対応、支援	親や兄弟がいる地元で働ける・通える	その他	無回答				
	全体		136	16	28	21	5	53			
		100.0%	11.8%	20.6%	15.4%	3.7%	39.0%				
障害種別	身体	96	10	14	11	3	47				
		100.0%	10.4%	14.6%	11.5%	3.1%	49.0%				
	知的	11	2	3	5	0	0				
		100.0%	18.2%	27.3%	45.5%	0.0%	0.0%				
精神	26	3	9	5	2	3					
		100.0%	11.5%	34.6%	19.2%	7.7%	11.5%				

(10) 障害福祉サービスなどの利用状況

問 13 あなたは次のサービスを今後利用したいと考えますか。

① 現在

●現在の利用状況は、大部分のサービスにおいて「利用している」が1割未満。

(1) 訪問・外出系サービス

図表 訪問・外出系サービス：現在（全体）

サービス	利用状況 (%)			n
	利用している	利用していない	無回答	
① 居宅介護	7.4	73.5	19.1	136
② 重度訪問介護	0.7	75.0	24.3	136
③ 同行援護	0.7	72.1	27.2	136
④ 行動援護	0.7	71.3	27.9	136
⑤ 重度障害者等包括支援	0.0	72.8	27.2	136

(2) 日中活動系サービス

図表 日中活動系サービス：現在（全体）

サービス	利用状況 (%)			n
	利用している	利用していない	無回答	
⑥ 生活介護	6.6	72.1	21.3	136
⑦ 療養介護	2.2	75.0	22.8	136
⑧ 短期入所	2.9	72.1	25.0	136

(3) 訓練・就労系サービス

図表 訓練・就労系サービス：現在（全体）

サービス	利用状況 (%)			n
	利用している	利用していない	無回答	
⑨ 自立訓練	4.4	71.3	24.3	136
⑩ 就労移行支援	2.2	70.6	27.2	136
⑪ 就労継続支援（A型）	0.7	67.6	31.6	136
⑫ 就労継続支援（B型）	4.4	66.9	28.7	136
⑬ 就労定着支援	1.5	69.9	28.7	136

(4) 居住系サービス

図表 居住系サービス：現在（全体）

(%)	利用している	利用していない	無回答	n
⑭ 共同生活援助	77.2	22.1	0.7	136
⑮ 施設入所支援	5.1	73.5	21.3	136
⑯ 自立生活援助	75.7	23.5	0.7	136

(5) 相談支援

図表 相談：現在（全体）

(%)	利用している	利用していない	無回答	n
全体	10.3	66.2	23.5	136

(6) 児童系サービス

図表 児童系サービス：現在（全体）

(%)	利用している	利用していない	無回答	n
⑱ 児童発達支援	39.7	60.3	0.0	136
⑲ 居宅訪問型児童発達支援	39.0	61.0	0.0	136
⑳ 放課後等デイサービス	38.2	61.8	0.0	136
㉑ 保育所等訪問支援	33.8	66.2	0.0	136
㉒ 医療型児童発達支援	33.1	66.9	0.0	136

※児童系サービスについては、対象者が少ないため半数以上が無回答

(7) その他の支援事業

図表 その他の支援事業：現在（全体）

(%)	利用している	利用していない	無回答	n
⑳ 意思疎通支援	59.6	39.7	0.7	136
㉑ 日常生活用具・補装具給付	8.1	55.9	36.0	136
㉒ 移動支援	62.5	36.8	0.7	136
㉓ 日中一時支援	59.6	37.5	2.9	136
㉔ 地域活動支援センター	61.0	36.0	2.9	136
㉕ 訪問入浴サービス	62.5	33.8	3.7	136

㉖ 今後

- 今後の利用希望については、相談支援は「利用したい」が3割強。また、訪問・外出系サービスや日中活動系サービスの利用意向が高く、概ね1割台半ば～2割台の利用意向となっている。
- そのほかのサービスについては、「施設入所支援」「日常生活用具・補装具給付」で約2割が「利用したい」と回答。

(1) 訪問・外出系サービス

図表 訪問・外出系サービス：今後（全体）

(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
① 居宅介護	22.8	20.6	34.6	22.1	136
② 重度訪問介護	17.6	19.9	38.2	24.3	136
③ 同行援護	14.7	22.8	33.1	29.4	136
④ 行動援護	14.7	22.8	32.4	30.1	136
⑤ 重度障害者等包括支援	15.4	22.1	33.8	28.7	136

(2) 日中活動系サービス

図表 日中活動系サービス：今後（全体）

(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
⑥ 生活介護	21.3	17.6	33.1	27.9	136
⑦ 療養介護	15.4	19.1	33.1	32.4	136
⑧ 短期入所	18.4	20.6	29.4	31.6	136

(3) 訓練・就労系サービス

図表 訓練・就労系サービス：今後（全体）

(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
⑨ 自立訓練	16.2	22.8	33.1	27.9	136
⑩ 就労移行支援	8.8	29.4	32.4	29.4	136
⑪ 就労継続支援（A型）	6.6	29.4	31.6	32.4	136
⑫ 就労継続支援（B型）	7.4	31.6	30.1	30.9	136
⑬ 就労定着支援	5.9	34.6	29.4	30.1	136

(4) 居住系サービス

図表 相談：今後（全体）

(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
⑭ 共同生活援助	10.3	27.9	33.8	27.9	136
⑮ 施設入所支援	19.9	25.0	28.7	26.5	136
⑯ 自立生活援助	11.8	27.9	33.1	27.2	136

(5) 相談支援

図表 相談：今後（全体）

(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
全体	33.8	11.0	27.2	27.9	136

(6) 児童系サービス

図表 児童系サービス：今後（全体）

(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
⑰ 児童発達支援	19.1	16.2	62.5		136
⑱ 居宅訪問型児童発達支援	18.4	16.9	63.2		136
⑳ 放課後等デイサービス	17.6	17.6	63.2		136
㉑ 保育所等訪問支援	17.6	14.0	67.6		136
㉒ 医療型児童発達支援	17.6	13.2	68.4		136

※児童系サービスについては、対象者が少ないため半数以上が無回答

(7) 他の支援事業

図表 その他の支援事業・相談：今後（全体）

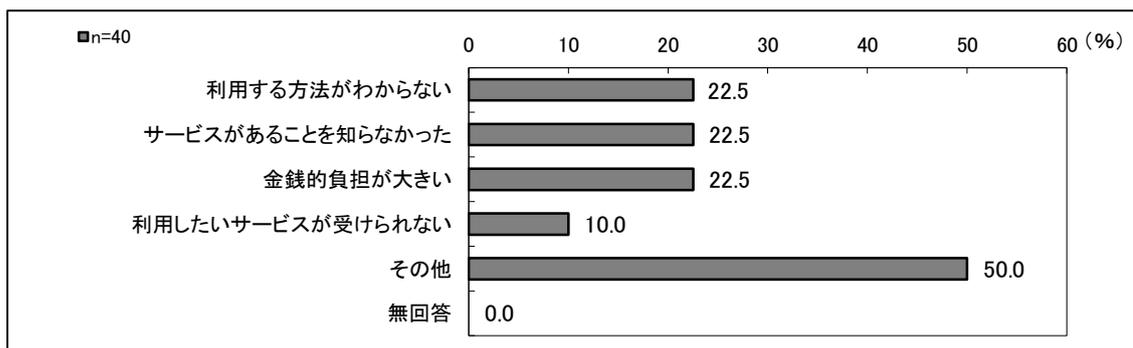
(%)	利用したい	利用しない	わからない	無回答	n
㉓ 意思疎通支援	5.9	27.2	22.8	44.1	136
㉔ 日常生活用具・補装具給付	21.3	17.6	22.1	39.0	136
㉕ 移動支援	14.0	19.9	26.5	39.7	136
㉖ 日中一時支援	11.0	22.8	25.7	40.4	136
㉗ 地域活動支援センター	6.6	22.8	29.4	41.2	136
㉘ 訪問入浴サービス	12.5	26.5	24.3	36.8	136

(11) 障害福祉サービスを利用しない理由

※問 13 のサービスを利用していない方、利用希望がない方にうかがいます。
問 14 障害福祉サービスを利用しない理由は何ですか。【複数回答】

- 「利用する方法がわからない」「サービスがあることを知らなかった」「金銭的負担が大きい」が同率で並ぶ。

図表 障害福祉サービスを利用しない理由（全体／複数回答）



図表 障害福祉サービスを利用しない理由（全体・障害種別／複数回答）

		合計	利用したいサービスが受けられない	利用する方法がわからない	サービスがあることを知らなかった	金銭的負担が大きい	その他	無回答	非該当
全体		40 100.0%	4 10.0%	9 22.5%	9 22.5%	9 22.5%	20 50.0%	0 0.0%	96
障害種別	身体	24 100.0%	3 12.5%	4 16.7%	3 12.5%	4 16.7%	14 58.3%	0 0.0%	72
	知的	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	7
	精神	10 100.0%	0 0.0%	3 30.0%	4 40.0%	4 40.0%	5 50.0%	0 0.0%	16

【主なその他の内容】障害福祉サービスを利用しない理由（自由記述）

- ・今は必要としないから。
- ・自分で何でもできるので日常生活には支障がない。
- ・利用しなくても大丈夫。
- ・現在は必要としてない。
- ・日常生活は比較的良好に過ごせているから。
- ・必要がないから。

5 保健・医療について

(1) 定期的に通院している医療機関の有無

問 15 あなたは定期的に通院している医療機関（かかりつけ医）はありますか。

- 「ある」が約8割を占める。
- 障害種別でみると、知的では「ない」が5割台半ばを占めて多い。

図表 定期的に通院している医療機関の有無（全体・障害種別）

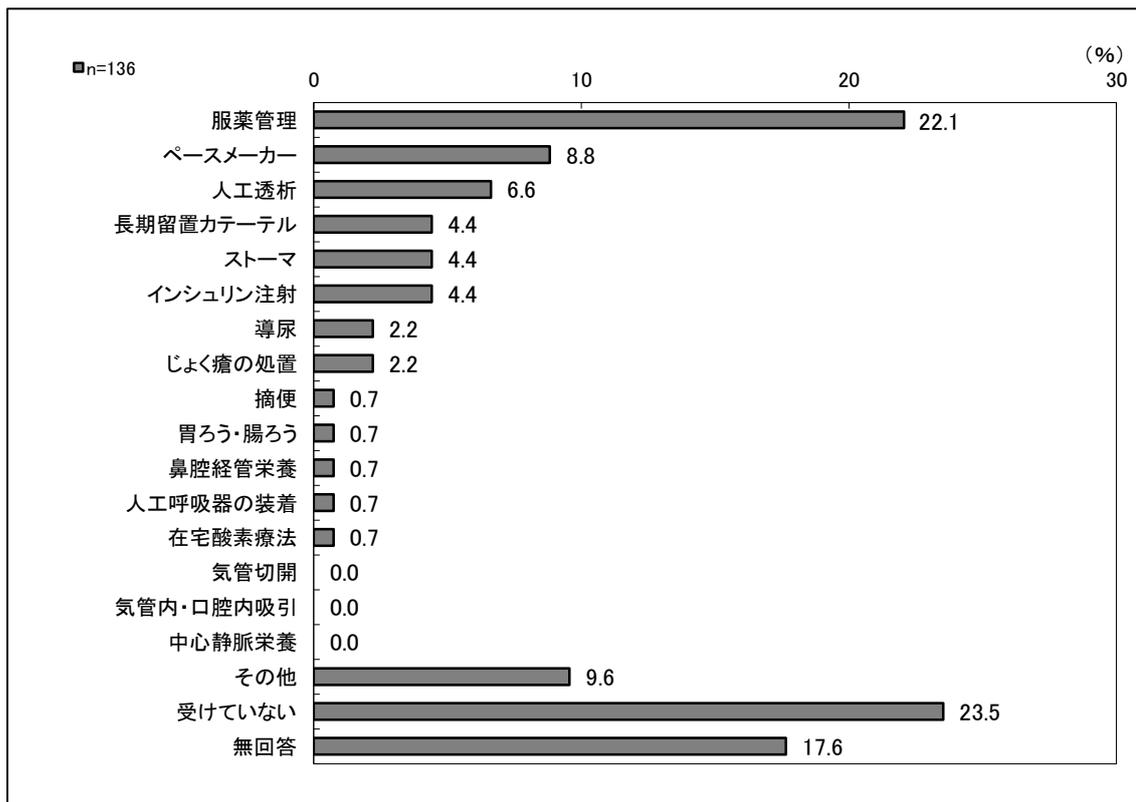
障害種別	n	%		
		ある	ない	無回答
全体	136	80.1	7.4	12.5
身体	96	86.5	1.0	12.5
知的	11	36.4	54.5	9.1
精神	26	88.5	0.0	11.5

(2) 現在受けている医療的ケア

問 16 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。【複数回答】

- 「受けていない」が最も多いものの、具体的内容としては「服薬管理」が他を離れて多い。

図表 現在受けている医療的ケア（全体／複数回答）

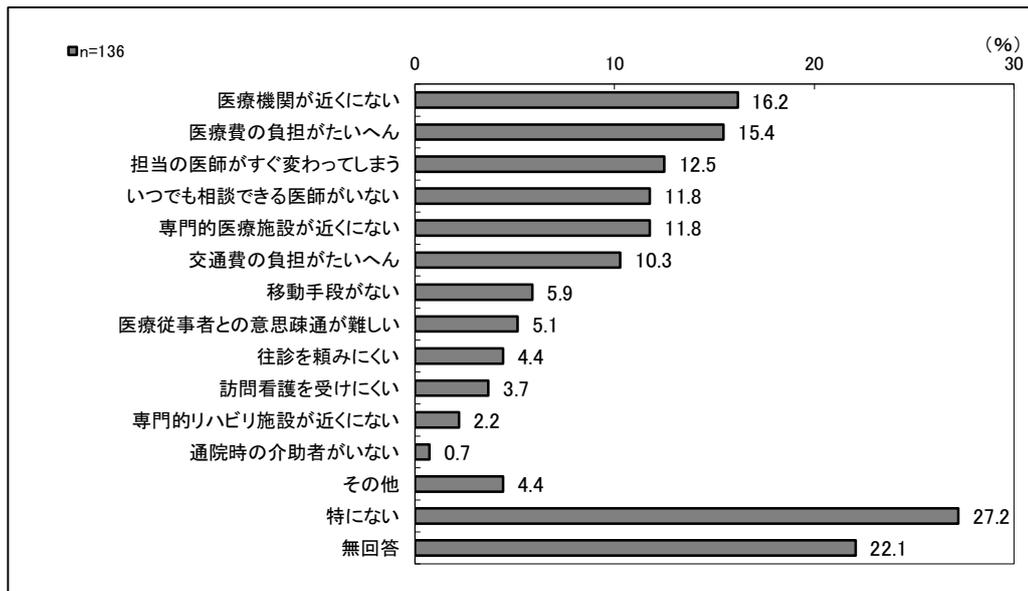


(3) 医療で困っていること

問 17 あなたは医療のことで何か困っていることはありますか。【複数回答】

●「特にない」が最も多いものの、具体的内容としては「医療機関が近くにない」「医療費の負担がたいへん」が1割台半ば。

図表 医療で困っていること（全体／複数回答）



図表 医療で困っていること（全体・障害種別／複数回答）

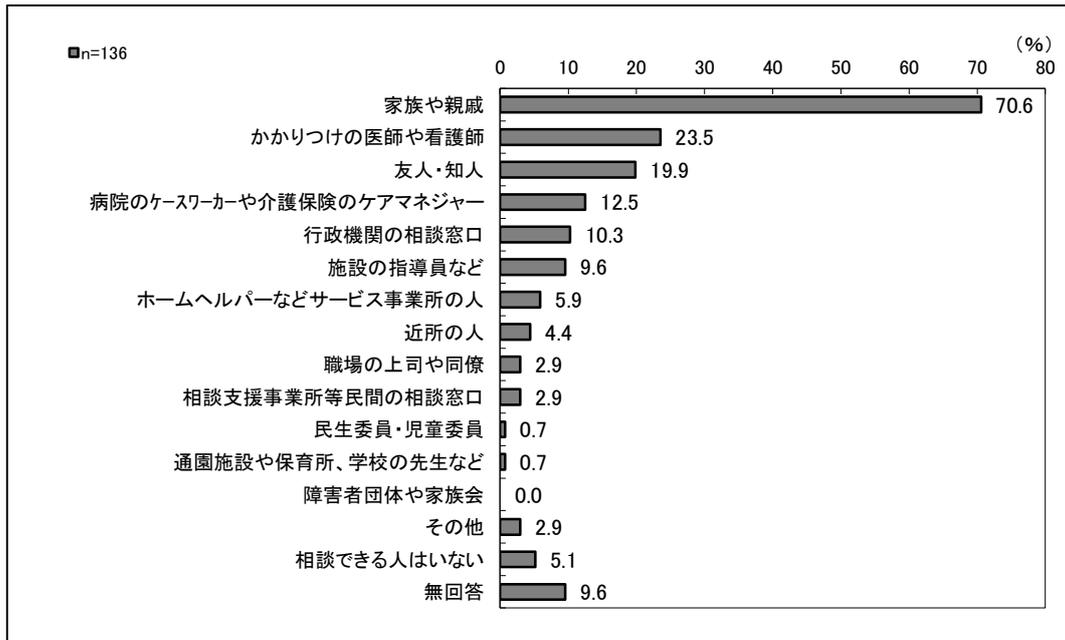
	合計	いつでも相談できる医師がいない	担当の医師がすぐ変わってしまう	通院時の介助者がいない	専門的医療施設が近くにない	専門的リハビリ施設が近くにない	医療機関が近くにない	往診を頼みにくい	訪問看護を受けにくい
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	136	11.8%	12.5%	0.7%	11.8%	2.2%	16.2%	4.4%	3.7%
障害種別	身体	9.4%	12.5%	1.0%	12.5%	2.1%	11.5%	5.2%	4.2%
	知的	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%
	精神	15.4%	15.4%	0.0%	11.5%	3.8%	19.2%	3.8%	3.8%
	合計	医療費の負担がたいへん	交通費の負担がたいへん	移動手段がない	医療従事者との意思疎通が難しい	その他	特にない	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	136	15.4%	10.3%	5.9%	5.1%	4.4%	27.2%	22.1%	
障害種別	身体	11.5%	6.3%	6.3%	3.1%	3.1%	28.1%	26.0%	
	知的	27.3%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	
	精神	34.6%	26.9%	3.8%	11.5%	11.5%	30.8%	11.5%	

(4) 悩みや困ったことの相談先

問 18 あなたは普段、悩みや困ったことを誰に相談しますか。【複数回答】

●「家族や親戚」が他を離して最も多い。

図表 悩みや困ったことの相談先（全体／複数回答）



図表 悩みや困ったことの相談先（全体・障害種別／複数回答）

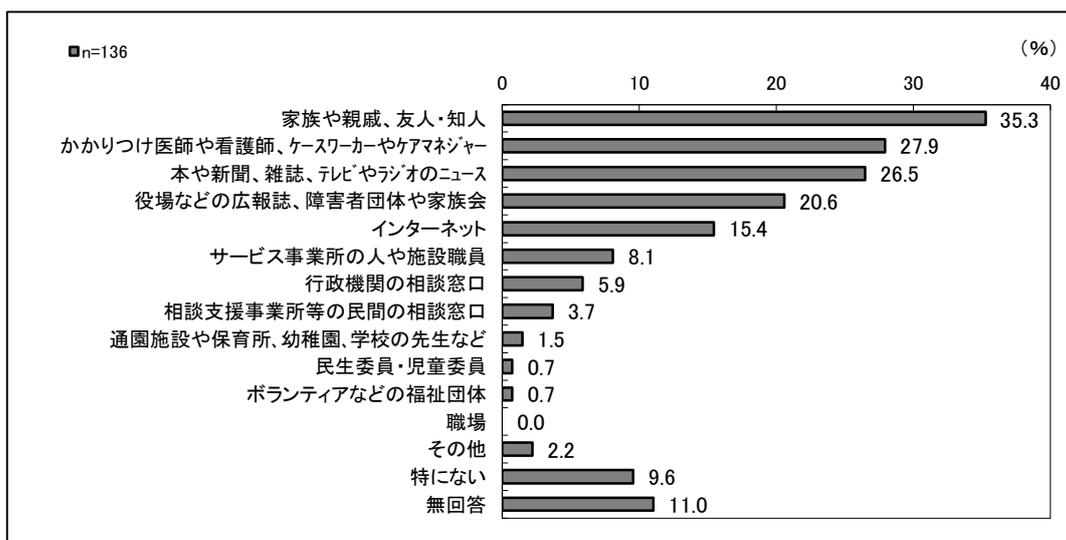
	合計	家族や親戚	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	障害者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	
全体	136 100.0%	96 70.6%	27 19.9%	6 4.4%	4 2.9%	13 9.6%	8 5.9%	0 0.0%	32 23.5%	
障害種別	身体	96 100.0%	69 71.9%	10 10.4%	6 6.3%	1 1.0%	8 8.3%	6 6.3%	0 0.0%	20 20.8%
	知的	11 100.0%	7 63.6%	5 45.5%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
	精神	26 100.0%	19 73.1%	12 46.2%	0 0.0%	2 7.7%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	13 50.0%
	合計		病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、学校の先生など	相談支援事業所等民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	相談できる人はいない	無回答
全体	136 100.0%	17 12.5%	1 0.7%	1 0.7%	4 2.9%	14 10.3%	4 2.9%	7 5.1%	13 9.6%	
障害種別	身体	96 100.0%	14 14.6%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 10.4%	2 2.1%	5 5.2%	9 9.4%
	知的	11 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	精神	26 100.0%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	3 11.5%	1 3.8%	2 7.7%	2 7.7%

(5) 障害や福祉サービスなどに関する情報の入手先

問 19 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。【複数回答】

- 「家族や親戚、友人・知人」が3割台半ばで最も多く、次いで「かかりつけ医師や看護師、ケースワーカーやケアマネジャー」「本や新聞、雑誌、テレビやラジオのニュース」などが続く。

図表 障害や福祉サービスなどに関する情報の入手先（全体／複数回答）



図表 障害や福祉サービスなどに関する情報の入手先（全体・障害種別／複数回答）

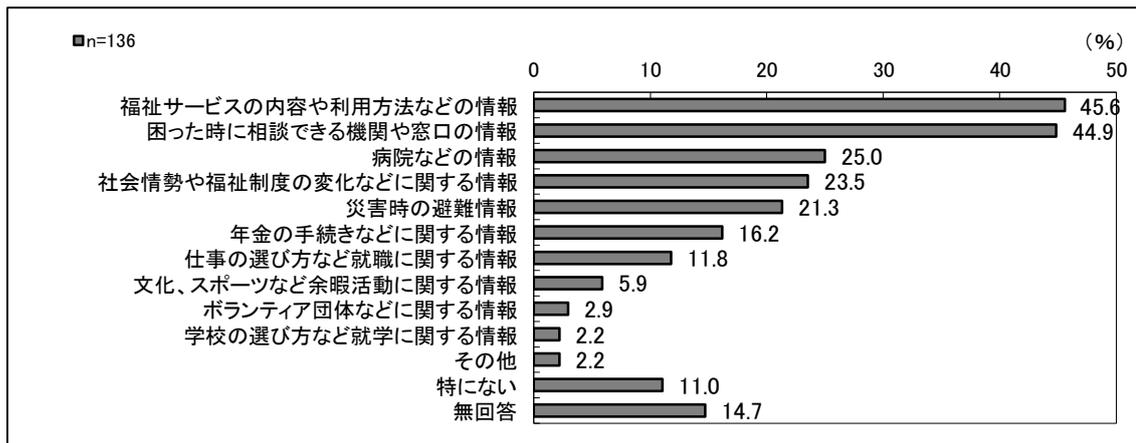
	合計	本や新聞、雑誌、テレビやラジオのニュース	インターネット	家族や親戚、友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	役場などの広報誌、障害者団体や家族会	かかりつけ医師や看護師、ケースワーカーやケアマネジャー	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生など
全体	136	36	21	48	11	28	38	1	2
	100.0%	26.5%	15.4%	35.3%	8.1%	20.6%	27.9%	0.7%	1.5%
障害種別	身体	96	28	11	38	7	25	29	1
		100.0%	29.2%	11.5%	39.6%	7.3%	26.0%	30.2%	1.0%
	知的	11	3	4	1	1	0	0	0
	100.0%	27.3%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	精神	26	4	5	9	3	4	10	0
	100.0%	15.4%	19.2%	34.6%	11.5%	15.4%	38.5%	0.0%	0.0%
	合計	相談支援事業所等の民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	ボランティアなどの福祉団体	職場	その他	特にない	無回答	
全体	136	5	8	1	0	3	13	15	
	100.0%	3.7%	5.9%	0.7%	0.0%	2.2%	9.6%	11.0%	
障害種別	身体	96	2	6	0	0	9	10	
		100.0%	2.1%	6.3%	0.0%	0.0%	9.4%	10.4%	
	知的	11	2	1	0	0	1	3	
	100.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	
	精神	26	1	1	1	0	2	3	
	100.0%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	7.7%	3.8%	11.5%	

(6) 今後特に充実してほしい情報

問 20 あなたにとって、今後、特に充実してほしい情報は何か。【複数回答】

- 「福祉サービスの内容や利用方法などの情報」と「困った時に相談できる機関や窓口の情報」が他を離して多い。

図表 今後特に充実してほしい情報（全体／複数回答）



図表 今後特に充実してほしい情報（全体・障害種別／複数回答）

		合計	社会情勢や福祉制度の変化などに関する情報	福祉サービスの内容や利用方法などの情報	困った時に相談できる機関や窓口の情報	学校の選び方など就学に関する情報	仕事の選び方など就職に関する情報	文化、スポーツなど余暇活動に関する情報	災害時の避難情報	ボランティア団体などに関する情報	
全体		136 100.0%	32 23.5%	62 45.6%	61 44.9%	3 2.2%	16 11.8%	8 5.9%	29 21.3%	4 2.9%	
障害種別	身体	96 100.0%	24 25.0%	48 50.0%	42 43.8%	0 0.0%	1 1.0%	3 3.1%	21 21.9%	3 3.1%	
	知的	11 100.0%	3 27.3%	4 36.4%	5 45.5%	1 9.1%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	
	精神	26 100.0%	5 19.2%	9 34.6%	13 50.0%	2 7.7%	12 46.2%	4 15.4%	5 19.2%	1 3.8%	
		合計	病院などの情報	年金の手続きなどに関する情報	その他	特にない	無回答				
全体		136 100.0%	34 25.0%	22 16.2%	3 2.2%	15 11.0%	20 14.7%				
障害種別	身体	96 100.0%	24 25.0%	11 11.5%	1 1.0%	13 13.5%	14 14.6%				
	知的	11 100.0%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%				
	精神	26 100.0%	8 30.8%	7 26.9%	2 7.7%	1 3.8%	3 11.5%				

6 災害時の避難などについて

(1) 災害時に一人で避難できるか

問 21 あなたは火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。

- 「できない」が約4割で多く、「できる」は3割強にとどまる。
- 障害種別で見ると、精神では「できる」が多数を占める一方、身体では「できない」が過半数を占める。

図表 災害時に一人で避難できるか（全体・障害種別）

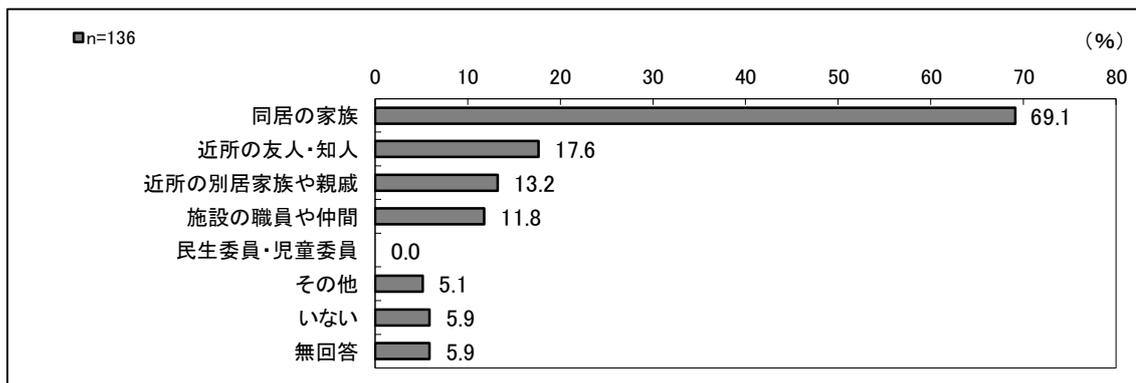
(%)	できる	できない	わからない	無回答	n	
全体	33.8	41.2	19.1	5.9	136	
障害種別	身体	30.2	51.0	12.5	6.3	96
	知的	36.4	18.2	45.5	0.0	11
	精神	46.2	19.2	30.8	3.8	26

(2) 災害時に頼れる人

問 22 地震や台風などの大きな災害が起きた場合に、あなたの安全の確保などで頼れる人は誰ですか。【複数回答】

- 「同居の家族」が他を離して最も多い。

図表 災害時に頼れる人は誰か（全体／複数回答）



図表 災害時に頼れる人は誰か（全体・障害種別／複数回答）

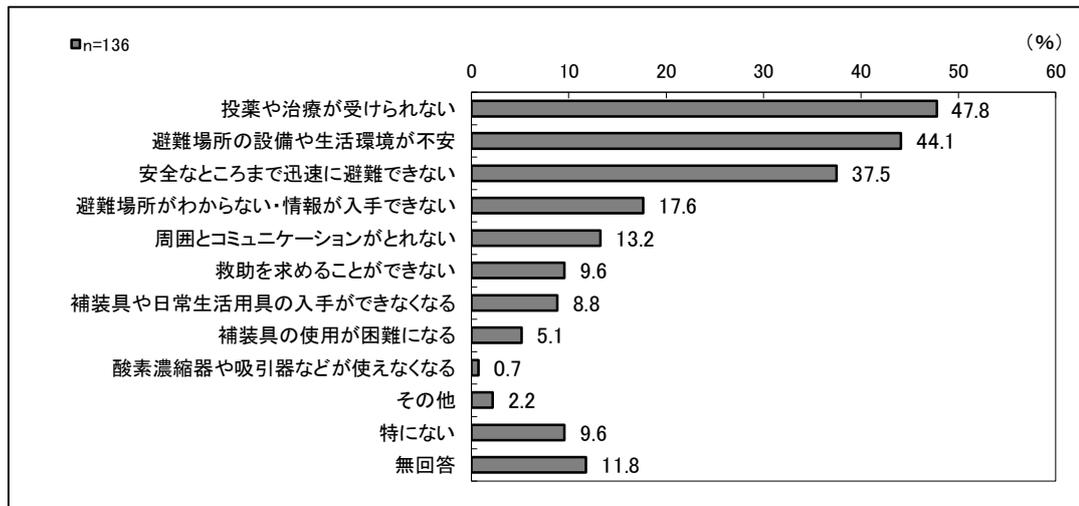
		合計	同居の家族	近所の別居家族や親戚	近所の友人・知人	民生委員・児童委員	施設の職員や仲間	その他	いない	無回答
全体		136	94	18	24	0	16	7	8	8
		100.0%	69.1%	13.2%	17.6%	0.0%	11.8%	5.1%	5.9%	5.9%
障害種別	身体	96	62	13	16	0	12	4	5	6
		100.0%	64.6%	13.5%	16.7%	0.0%	12.5%	4.2%	5.2%	6.3%
	知的	11	7	0	3	0	3	1	2	0
	100.0%	63.6%	0.0%	27.3%	0.0%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	
	精神	26	20	4	4	0	2	2	2	1
	100.0%	76.9%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	3.8%	

(3) 災害時に困ること

問 23 火事や地震などの災害時にあなたが困ることは何ですか。【複数回答】

- 「投薬や治療が受けられない」が最も多く、次いで「避難場所の設備や生活環境が不安」「安全なところまで迅速に避難できない」が続く。
- 障害種別でみると、知的では「周囲とコミュニケーションがとれない」が最も多い。

図表 災害時に困ること（全体／複数回答）



図表 災害時に困ること（全体・障害種別／複数回答）

		合計	投薬や治療が受けられない	酸素濃縮器や吸引器などが使えなくなる	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで迅速に避難できない	避難場所がわからない・情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない
全体		136	65	1	7	12	13	51	24	18
		100.0%	47.8%	0.7%	5.1%	8.8%	9.6%	37.5%	17.6%	13.2%
障害種別	身体	96	46	0	6	10	10	42	16	6
		100.0%	47.9%	0.0%	6.3%	10.4%	10.4%	43.8%	16.7%	6.3%
	知的	11	1	1	1	1	2	4	3	7
		100.0%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	18.2%	36.4%	27.3%	63.6%
精神	26	18	0	0	0	1	7	6	7	
	100.0%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	26.9%	23.1%	26.9%	
		合計	避難場所の設備や生活環境が不安	その他	特にない	無回答				
全体		136	60	3	13	16				
		100.0%	44.1%	2.2%	9.6%	11.8%				
障害種別	身体	96	42	2	6	11				
		100.0%	43.8%	2.1%	6.3%	11.5%				
	知的	11	5	0	3	0				
		100.0%	45.5%	0.0%	27.3%	0.0%				
精神	26	13	1	3	1					
	100.0%	50.0%	3.8%	11.5%	3.8%					

7 療育・教育・保育について

(1) 療育や教育での困り事・将来の不安や心配事

問 24 保護者の方が障害のある子どもの療育や教育について困っていることや障害のある子どもの将来に向けて不安や心配していることがあれば、ご自由にお書きください。

療育や教育での困り事・将来の不安や心配事については、以下のような回答があげられている。

【療育や教育での困り事・将来の不安や心配事（自由記述）】

- ・階段や玄関前を下りるのが不自由。
- ・私（母）が、先に逝った時の事を思うと夜も眠られません。子どものために、一日でも元気で長生きしたいと日々考えてしまいます。不安だらけです。

(2) 保育所・学校等で充実してほしいこと

問 25 保護者の方が保育所や学校について充実してほしいと思ことがあれば、ご自由にお書きください。

保育所・学校等で充実してほしいことについては、以下のような回答があげられている。

【保育所・学校等で充実してほしいこと（自由記述）】

- ・以前は作業等をしていましたがコロナになって中止をしています。やはり一日中、お部屋で過ごすより短時間でも作業をやる方が、メリハリがついて良いと思う。

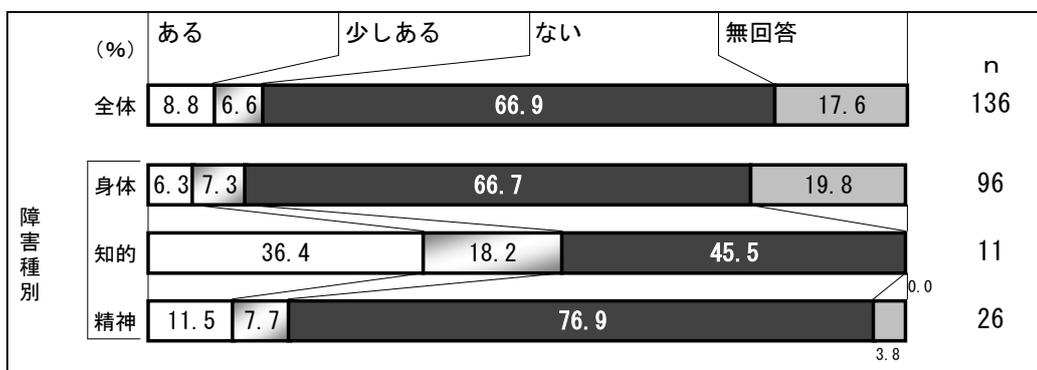
8 権利擁護について

(1) 差別を受けたり嫌な思いをしたこと

問 26 あなたは、ここ3年以内に障害があることで差別を受けたり、嫌な思いをしたりする(した)ことがありますか。

- 「ない」が6割台半ば。
- “ある割合”（「ある」と「少しある」の合計）を障害種別で見ると、身体では1割強、知的では5割台半ば、精神では約2割となっている。

図表 差別を受けたり嫌な思いをしたこと（全体・障害種別）

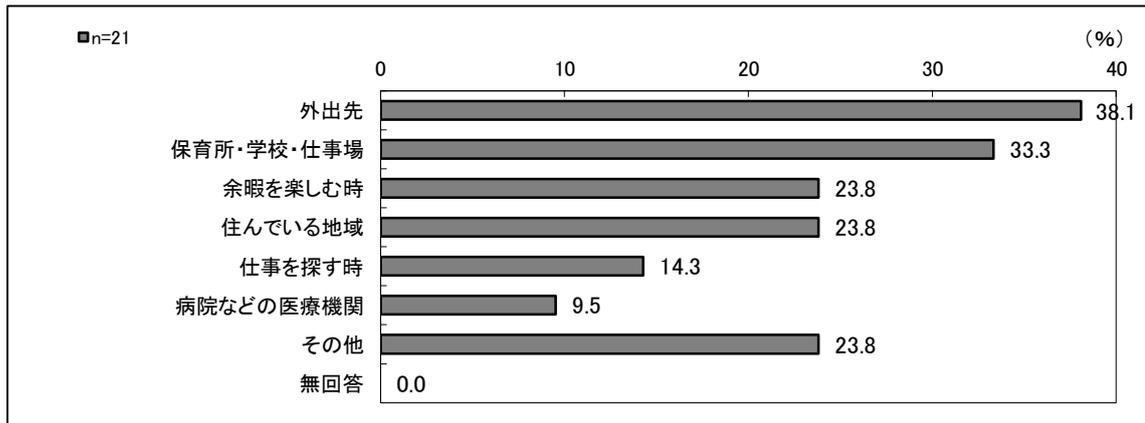


(2) 差別を受けたり嫌な思いをした場所

※問 26 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
 問 26-1 どのような場所・場面で差別を受けたり、嫌な思いをしたりしましたか。
 【複数回答】

- 「外出先」が最も多く、次いで「保育所・学校・仕事場」が続く。

図表 差別を受けたり嫌な思いをした場所（全体／複数回答）



図表 差別を受けたり嫌な思いをした場所（全体・障害種別／複数回答）

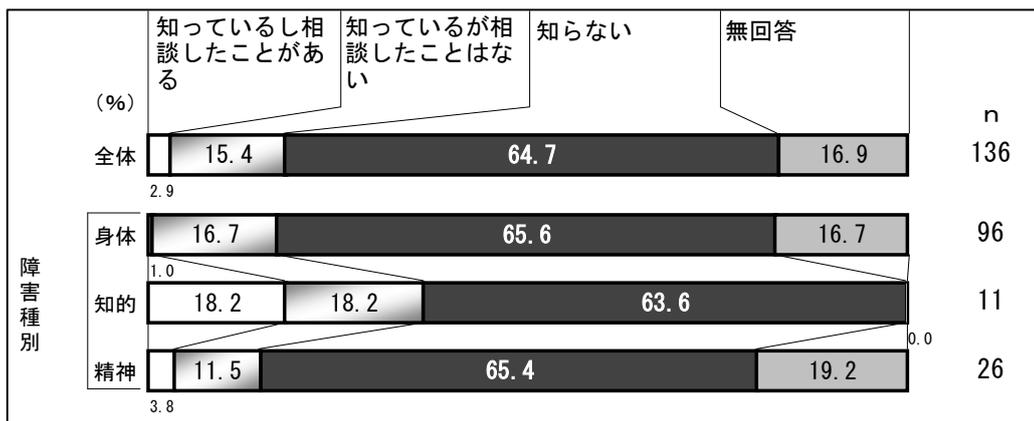
	合計	保育所・学校・仕事場	仕事を探す時	外出先	余暇を楽しむ時	病院などの医療機関	住んでいる地域	その他	無回答	非該当
全体	21	7	3	8	5	2	5	5	0	115
	100.0%	33.3%	14.3%	38.1%	23.8%	9.5%	23.8%	23.8%	0.0%	
障害種別	13	3	1	5	3	0	2	3	0	83
身体	100.0%	23.1%	7.7%	38.5%	23.1%	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%	
知的	6	4	1	2	0	1	1	0	0	5
	100.0%	66.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	
精神	5	2	2	2	2	1	3	3	0	21
	100.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	

(3) 差別や虐待を受けた時の相談先を知っているか

問 27 あなたは家族、支援員（ヘルパー）、職員、職場での仲間や上司などから差別を受けたり、虐待を受けたときに、どこに相談するか知っていますか。

- 「知らない」が6割台半ばを占め、“知っている割合”（「知っているが相談したことはない」と「知っているし相談したことがある」の合計）は、2割弱。

図表 差別や虐待を受けた時の相談先を知っているか（全体・障害種別）

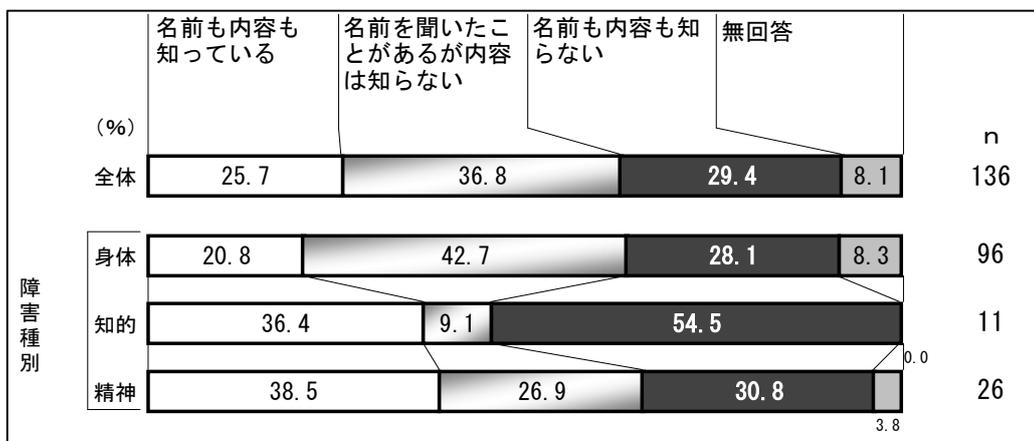


(4) 成年後見制度について

問 28 あなたは成年後見制度についてご存知ですか。

- 「名前も内容も知っている」は2割台半ば。

図表 成年後見制度について（全体・障害種別）



(5) 成年後見制度の利用意向

問 29 あなたは成年後見制度を利用したいと思いますか。

- 「将来必要になったら利用したい」は約3割。
- 障害種別でみると、知的では5割台半ばが「将来必要になったら利用したい」と回答。

図表 成年後見制度の利用状況・利用意向（全体・障害種別）

障害種別	利用意向					n
	既に利用している	将来必要になったら利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答	
全体	30.1	27.9	30.1	9.6		136
身体	28.1	29.2	29.2	11.5		96
知的	9.1	54.5	36.4			11
精神	30.8	34.6	26.9			26

注: 各セルの下部には、その意向から「将来必要になったら利用したい」に転換する割合が示されています。全体: 2.2, 身体: 2.1, 知的: 0.0, 精神: 3.8。

9 自由意見

(1) 自由意見

最後に障害福祉サービスや行政の取り組みについて、何かご意見がございましたら、自由にお書きください。

自由意見については、以下の回答があげられている。

性別	年齢	障害の種類	自由意見
女性	40～49歳	精神	就労継続支援A型を近くにたくさんつくってほしいです。
男性	50～59歳	身体、精神	毎月の施設への給付金、本当に有難く感謝しております。主人亡き後、どうしてやっていこうかと、何度も相談したり、福祉の方からのアドバイスを受けて、何とか今日までできました。今は、子どもの施設へ週2～3回位、おやつの差し入れに行くのが楽しみで、暑くても頑張っています。
男性	50～59歳	身体	介助者が高齢になり情報を得ることができないため、役場から障害者宅に定期的に訪問して福祉サービス等について教えてほしいと思います。
女性	60～69歳	身体	福祉サービス、行政、循環バスの利用はもう少し先になりそうですが、もう少し時間的に利用しやすい時間と、一方通行ではなく、逆まわり？もあったほうがいいと思います（私の所では、1便目が10時すぎです。これでは、利用したいと思いません）。 1日するのであれば、ドライバーさんが2～3人必要だと思うし、利用者は1回100円程度なら出せると思うのです。障害者、高齢者は、安く利用（2割位）、回数券（たとえば10枚+2～多くて4枚）色を変える、現金の場合はそのまま。
男性	70歳以上	身体	介護保険料や特に使用料は今以上に上がったら利用できません。自宅で介護といっても、老々介護となり無理があります。値上げにならないようにしてほしいです。
女性	70歳以上	身体	タクシー券は助かります。ありがたいです。

性別	年齢	障害の種類	自由意見
女性	70歳以上	身体	私は膝関節の疾患で日常のことは悪いながらも全部行ってます。役場からのタクシー券やベッドの貸出しにはとっても便利に利用しています。 ありがとうございます。
女性	70歳以上	精神	仕事など収入が少ない時、お金の援助がほしい。
男性	70歳以上	身体	地元の施設に入る事ができたら良かったと思います。
男性	70歳以上	身体	私は耳が不自由ですが補聴器を支給されていますので大変助かっています。
男性	50～59歳	精神	神崎役場の相談先で被害を受けながら、不公平な相談拒否をされることがあった。相手が先に相談したから、何も話を聞かず相談はできないと役場の職員に断られた。納税者に対する差別的行為をされた。改善をするように要求したが結果がわからない。
男性	70歳以上	身体	御苦労様です。
女性	30～39歳	知的	子どもを安心してお願いできる施設があること、そして通所できるために役場より多大なるご支援を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。 また、施設との私達の手続きや更新等、大変スムーズで、日頃より施設との連携に努めて下さってる福祉課の職員の皆さんのお蔭と、心よりお礼申し上げます。 子どもも私も、私がいなくなったときのイメージが湧かず考えが及ばないのが事実です。皆さんにご迷惑をおかけすることがないよう、子どもが困る部分が少しでも軽減できるよう、もう遅い気はいたしますが日々努めたいと思っております。今後とも宜しく願いいいたします。
男性	70歳以上	身体	入院時の連帯保証人が居ません。緊急時の連絡先がありません。
男性	70歳以上	-	障害の見直しはありますか。
男性	50～59歳	身体	年金の請求が簡単になればいい！！

性別	年齢	障害の種類	自由意見
男性	70歳以上	身体	神崎町の対応には、いつも感心しており、また感謝、感謝でありがたく思っております。また、この所、町長さんが変わってからの町の対応の素晴らしさに感謝しております。ありがとうございます。
女性	60～69歳	身体	私は現在働いていますが、もっと、障害者によりそう仕事があれば、69歳ですがまだまだ働いて協力もしたいと思います。普通の人には障害者にはウソをついたり自分の利益のために平気でウソをつき、障害者を利用したりするのだ！と見てきました。
男性	40～49歳	精神	どの障害にも、一時的に症状がよくなったように見えてよかったと思うのではなく、私は波がつづくと思います。長い目で見ていただくと助かると思います。
男性	30～39歳	知的	質問が多い。
女性	50～59歳	精神	色々ある。個人情報流出、親の情報が洩れている、いやがらせ、待ち伏せ対策、変な人出ても親が無関心だった。家の個人情報を流出しているみたい。物売り変なの来る。
男性	70歳以上	身体	院外投薬について、薬局での経費がかかりすぎる。薬局が困っているところは全然聞いたことがないし、医師会と別に薬剤師会が強くなりすぎ（保険組合大変）、昔の薬局からみたら、絶対変更すべきである。
男性	70歳以上	身体	“知る機会”があるといいと思う。病気や障害者になってからでなく、これらのことを知る機会があれば、心の構えもできるのでしょう。
女性	70歳以上	身体	お世話になっておりまして助かっております。ありがとうございます。
女性	70歳以上	身体	在宅介護を希望したくても今の神崎町では無理がある。24時間の医療、訪問介護体制が整わないと不安で自宅で介護できない、受入れ病院も少ない。救急車を呼べば延命治療となる。思いと現実は違ってくる。